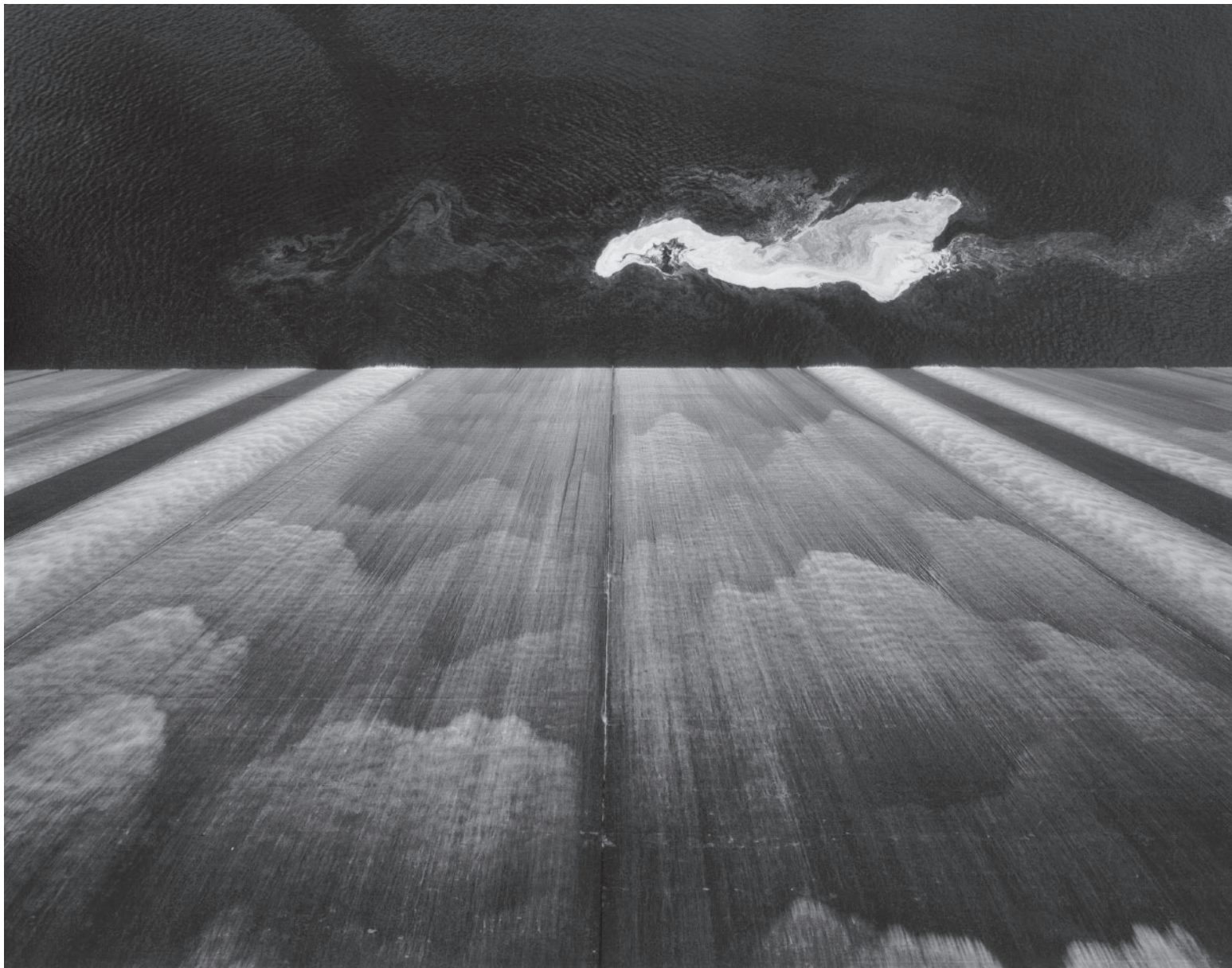




Grand Coulee Dam, Douglas County, WA 1996

人と自然：環境思想セミナー vol.26

another view

ー ランドスケープのゆくえ

2009.11.18 wed 15:00-17:00 総合地球環境学研究所(地球研)・講演室

話し手：柴田敏雄(写真家) 聞き手：鞍田 崇(総合地球環境学研究所上級研究員)

聴講無料・申込不要

主催・総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(里プロジェクト) <http://www.chikyu.ac.jp/sato-project>





Coolidge Dam, San Carlos, AZ 1997

それが視覚的にはっきりと表れていようとなかろうと — やわらかい地質とそれをシェーピングしていく雨のように — 目にとまるのは、いつも水なのかもしれません。そこに繰り返し展開される土木工事は、アートシーンにおける規模の大きな造形行為のようにも見えます。

私は自然の景色の中で通常排除されるべき人工物をあえて外さず、インフラストラクチャーなどのありようから時代を反映させるという手法で制作しています。都市にありがちなトレンドや風俗的でダイレクトな眺めではなく、もっとアベレージな時代性というか婉曲的な時代表現、それが私のテーマなのです。

— 柴田 敏雄

柴田 敏雄 SHIBATA Toshio 写真家

1949年東京生まれ。東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒、同大学院美術研究科絵画専門課程油画専攻(修士課程)修了。1975年ベルギー文部省より奨学金をうけ、王立アカデミー写真科(ベルギー・アントワープ市)に入学、写真を始める。1979年に帰国。個展「日本典型」(1991)で、1992年第17回木村伊兵衛写真賞受賞。90年代以降は活動を海外にも広げる。ダムやコンクリートに覆われた造成地など、人工的に加工された各地のランドスケープに着目し、構成的かつ静謐な空間描写で注目を集めてきた。

主な個展に、「ディオラマのように」(ツァイト・フォト・サロン/東京、1982)、「日本点景：On the Spot」(同、1988)、「The Edge of Nature」(ローレンス・ミラー・ギャラリー/NY、1996)、「Toshio Shibata」(シカゴ現代美術館、1997)、「Falling Waters」(ローレンス・ミラー・ギャラリー/NY、2003)、「ランドスケープ—柴田敏雄」(東京都写真美術館、2008)など。

■ 関連企画 柴田敏雄 作品展

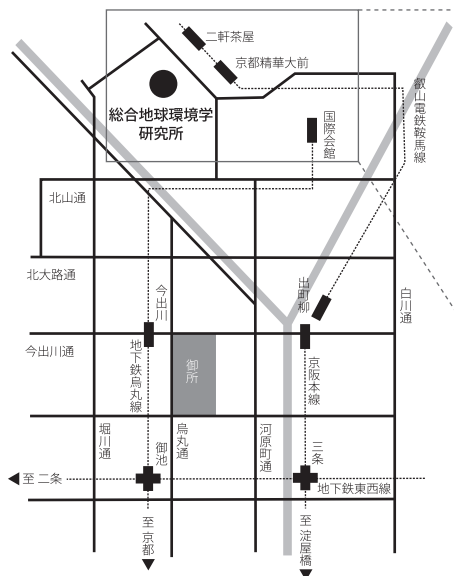
「a View」 2009.10.30. (fri) ~ 11.29. (sun)

BLD GALLERY (東京・銀座 03-5524-3903)
http://bld-gallery.jp

「For Grey」 2009.10.30. (fri) ~ 11.25. (wed)

ZEIT-FOTO SALON (東京・京橋 03-3535-7198)
http://zeit-foto.com

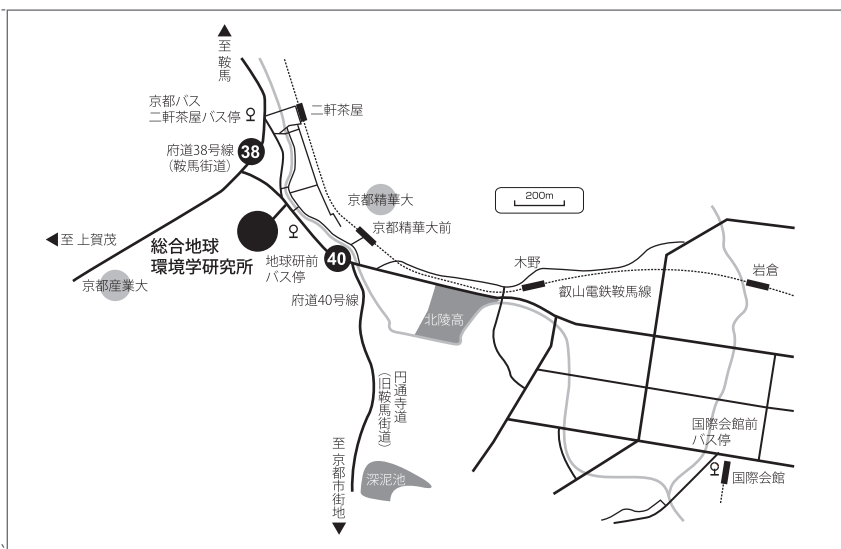
ACCESS MAP



■ JR「京都駅」・近鉄「京都駅」・阪急「烏丸駅」より
京都市営地下鉄烏丸線に乗り換え、「国際会館」下車。国際会館駅/バスターミナル2番乗場から
京都バス40系統(京都産業大学ゆき)もしくは50系統(市原ゆき)にて(約10分)、「地球研前」下車スグ。

■ 京阪「出町柳駅」より
叡山電鉄鞍馬線に乗り換え、「京都精華大前」もしくは「二軒茶屋」下車、徒歩10分。

※マイカーの利用はご遠慮ください。



聴講無料・申込不要

お問合せ

環境思想セミナー担当 鞍田崇 (地球研・上級研究員)
075-707-2382 fax.075-707-2508 kurata@chikyu.ac.jp

主催・総合地球環境学研究所 文明環境史領域 プロジェクト「農業が環境を破壊するとき」(里プロジェクト)

次回予告：Vol.27 2009.12.16(wed) 「1928—風土・民芸・聴竹居」(仮題)

講師：川島智生(建築史家)・松隈章(竹中工務店・聴竹居倶楽部代表)



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
総合地球環境学研究所(地球研)

〒603-8047 京都市北区上賀茂本山457番地4
http://www.chikyu.ac.jp